

よみがえる古代の但馬 箕谷古墳群



文化財ミニパンフ

国指定 史跡 箕谷古墳群 7,000 m² 平成4年12月18日指定

国指定 重要文化財 箕谷2号墳出土品 103点 平成4年6月22日指定

昭和58年5月から12月にかけて、養父市立つるぎが丘公園を整備する事業の一環として^{みいだに}箕谷古墳群の発掘調査が行われました。その中の箕谷2号墳から、「^{ぼしんのとしごがつ}戊辰年五月^{なか}(中)」という文字を彫った鉄刀が出土しました。当時、文字を彫った鉄刀で古墳から発見されたものは、全国でも5本しかない極めて貴重なものでした。これが契機となって箕谷古墳群は国指定文化財となり、古墳公園として整備されました。

現在、養父市立つるぎが丘公園には、総合体育館・テニスコート・温水プール・児童公園などが整備されています。さらに付近には、兵庫県立但馬長寿の郷（宿泊棟併設）、養父市立全天候運動場（渡辺うめ農民人形展示交流館併設）、天文館パルーン八鹿などがあり、但馬地域を代表するスポーツの施設群となっています。

箕谷古墳群は、平成4年12月18日に国指定文化財の史跡になりました。そこで、文化庁・兵庫県教育委員会の支援を受けて養父市が整備を行い、平成6年5月に古墳公園として開園しました。ここには2号墳から5号墳までの4基の古墳があります。鉄刀が出土した2号墳は、古墳内部にある^{よこあなしきせきしつ}横穴式石室を保存修理し、埋葬された当時の横穴式石室を復元しています。

また箕谷2号墳の出土品103点は、国指定重要文化財になりました。内訳は、須恵器46点、乗馬に使用する鞍の金具などの馬具類27点、武器となる鉄鍬19点・鉄刀5点、装身具である金銅装の耳環3点などです。なかでも兵庫県で最古となる漢字を刻んだ鉄刀の^{ぼしんねんめいたち}戊辰年銘大刀は、特に重要な文化財です。



史跡箕谷古墳群 兵庫県養父市八鹿町小山283番地



養父市立全天候運動場



兵庫県立但馬長寿の郷



養父市立つるぎが丘公園

国指定史跡 箕谷古墳群

箕谷古墳群は八木川下流域の左岸に位置し、細い谷筋を入った北・西・東の3方を山に囲まれた袋状の地形に立地しています。そして狭い範囲に2号墳から5号墳の4基の古墳が造られています。

2号墳は、東西12m・南北14mの範囲に土を盛り上げた円墳です。横穴式石室は、長さ9.6m・幅1.2m・高さ1.7mです。側壁は細長い石材を3段に積み、奥壁は2段積みであったと考えられます。

3号墳は、東西9.5m・南北13.5mの楕円形をした円墳です。墳丘には外護列石が3重にめぐっています。横穴式石室は、長さ9.2m・幅1.2m・高さ1.4mです。

4号墳は直径7mほどの円墳で、横穴式石室は長さ3.6m・幅0.8m・高さ0.7mです。5号墳は直径6mほどの円墳で、横穴式石室は長さ3.6mほどです。一人だけを埋葬するための小規模な横穴式石室となっています。

箕谷古墳群の特徴

4基の古墳はいずれも円墳で、石室はすべて谷の入口方向である南側に開くように規則的に造られています。そして2号墳・3号墳・4号墳・5号墳と順番に造られ、次第に墳丘や石室の規模が小型化しています。これは西暦630年頃から670年頃にかけて古墳が小型化し、古墳を造らなくなる過程を示す貴重なものです。

箕谷古墳群は、北側に山を背負って南側が開ける場所に立地し、しかも4基の石室が南方向に開くことから、「風水の思想」を取り入れた選地であるとも言われています。

横穴式石室には、埋葬された人物が死後の世界である「黄泉の国」で日常生活をするための生活用品が納められました。2号墳の石室からは、須恵器・土師器などの土器、耳環という装身具、鉄刀や鉄鏃などの武器、乗馬に用いる馬具類などが出土しました。



整備した2号墳の横穴式石室の内部



東から見た2号墳・3号墳



鉄刀の発見された2号墳



外護列石をもつ3号墳



小規模な4号墳



現在の古墳公園と発掘調査当時の箕谷古墳群



4基の古墳が造られた箕谷古墳群

戊辰年銘大刀

戊辰年銘大刀の発見

大刀は昭和 58 年 8 月に出土しました。銘文は奈良国立文化財研究所（現在：独立行政法人奈良文化財研究所）が X 線調査を実施し、昭和 59 年 1 月 10 日に銘文発見を発表しました。昭和 59 年 1 月 8 日には島根県岡田山 1 号墳からも銘文入り鉄刀が発見され、但馬と出雲の古代史に注目が集まりました。

戊辰年銘大刀

大刀は基部が折れ、残存長は 68.8cm でした。鞘は腐って刀身に錆と共に付着し、鉄刀の基部にある茎なかごと柄頭つかがしら、鞘尻金具さやじりはありませんでした。刀身は反りのない直刀で、長さ 65cm・最大幅 2.9cm・厚さ 0.6cm です。復元すると鉄刀の全長は約 77cm で、柄頭は圭頭けいとうという種類、鞘には黒漆うるしを塗り、金具に金メッキを施した鉄刀と考えられます。古代の飛鳥京あすかで製作されたと推定されています。

推古天皇の時代の文字資料

「戊辰年五月（中）」の 6 文字が彫られています。文字の大きさは 1 字が 1cm ほどです。兵庫県で最古の文字資料です。戊辰年は干支で書かれた年号で、西暦 608 年（推古天皇 16 年）が有力です。西暦 608 年は小野妹子おののいもこが第 3 回遣隋使として中国に渡った年であり、推古天皇や聖徳太子が活躍していました。

大陸文化である象嵌の技術

銘文は象嵌そうがんという技術で刻まれています。刀身にタガネで溝を彫り込み、その中に細く糸状にのぼした金属をたたき込んで文字や文様を表現します。象嵌には金・銀・銅の三種類の金属が使われますが、戊辰年銘大刀には純銅に近い銅が使われました。銅象嵌では最古で、1 例だけです。文字の線幅は、横線が 0.2～0.3mm、縦線が 0.3～0.4mm です。

戊辰年銘大刀と古代の但馬

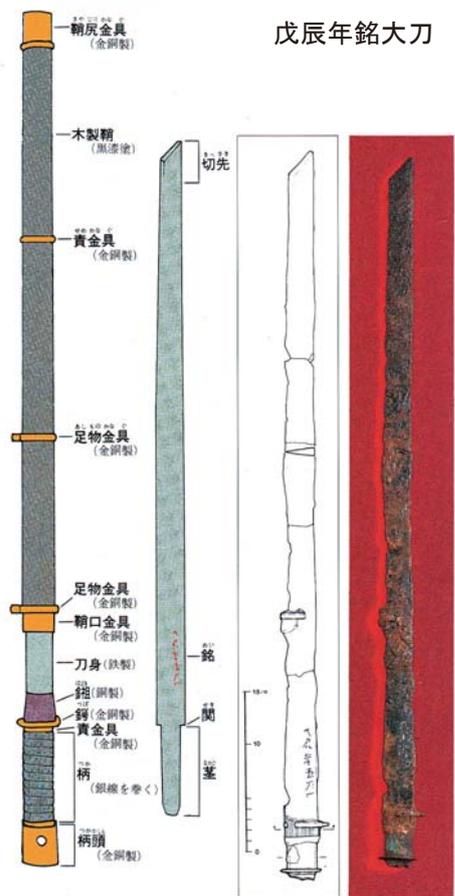
特徴が共通する但馬の鉄刀

戊辰年銘大刀とはほぼ同じ形式の鉄刀が、豊岡市上鉢山の東山 1 号墳と香美町寺河内の文堂古墳から出土しています。いずれも刀身がカマス切先という形状で、小規模な喰み出し鏝をつけています。これらは儀式に使う儀仗用大刀ぎじょうようたちと考えられます。類似した形状の鉄刀は但馬地方でも発見されていますが、文字を刻む事例は極めて特殊なものです。

兵庫県最古の文字資料

北近畿地方の京都府や福井県、山陰地域の鳥取県、中国地方の岡山県や広島県、四国地方では、銘文入り鉄刀が発見されていません。但馬国と出雲国の 2 か国だけです。なぜ、兵庫県北部の但馬地方にある箕谷 2 号墳から銘文入り鉄刀が出土したのでしょうか。

またなぜ、箕谷 2 号墳は、前方後円墳ではなく小規模な円墳だったのでしょうか。しかも豪華な横穴式石室でもありません。しかし大刀の発見は、推古天皇の時代、但馬地方が重要視されていたことを示しています。兵庫県最古の文字を彫った鉄刀は、多くの謎に満ちています。



戊辰年銘大刀

●古代の養父

養父市には、約1,100基の古墳があります。その中には国指定文化財が1件、県指定文化財が7件あります。箕谷2号墳がある場所は、古代の養父郡八木郷にあたります。八木郷には古代の山陰道が通り、八木駅が設置されました。北側は養父郡小佐郷、東側は養父郡養父郷です。小佐郷には語部という一族がいます。また養父郷には但馬公や養父部などの豪族がいました。養父郷には養父郡衛が置かれたと推定されています。

●大藪古墳群（養父市大藪）

大藪には、但馬地方で最大級の石室をもつ4基の古墳があります。禁裡塚古墳・塚山古墳・西ノ岡古墳・こうもり塚古墳です。禁裡塚古墳は昭和61年3月、その他は昭和63年3月に兵庫県指定文化財になりました。6世紀後半から7世紀中頃に造られた古墳です。その中でも禁裡塚古墳の横穴式石室は、高さが3.6mもある但馬地方では最大のものです。

●堀畑1号墳（養父市堀畑）

国道9号線に面した「はさまじ里山の森公園」の中にあります。古墳は直径38m、最大高8.4mの円墳です。横穴式石室は全長11.7m、玄室高は3.8mあります。禁裡塚古墳・塚山古墳と並ぶ大きなものです。

●国木とが山古墳群（養父市八鹿町国木）

とが山古墳群は、県立但馬農業高等学校の南側に広がる尾根上に立地し、前方後円墳1基と18基の円墳が造られています。前方後円墳は、養父市内でこの1基だけです。築造年代は5世紀から6世紀、木棺や石棺を埋葬する古墳群です。この時代の集落跡が八鹿氷ノ山インター建設に伴う発掘調査で発見されました。竅穴住居跡などが発見された高柳ナベ遺跡です。とが山古墳群は遊歩道が整備されています。

●全国に9本の銘文入り鉄刀

日本の古墳から出土した銘文入り鉄刀は7本あります。4世紀は奈良県東大寺山古墳、5世紀から6世紀は埼玉県稲荷山古墳・千葉県稲荷台1号墳・熊本県江田船山古墳・島根県岡田山1号墳、7世紀は兵庫県箕谷2号墳・福岡県元岡G6号墳から出土しています。こうした鉄刀に文字を彫ることは特別な行為です。

古墳以外では、奈良県石上神宮の七支刀、大阪府四天王寺の鉄剣があります。石上神宮の七支刀は、百濟で西暦369年に製作されました。東大寺山古墳の大刀は、中国の後漢（西暦186-189）の製作です。その他は日本で製作されたものです。また干支の年号は、稲荷山古墳の辛亥年（西暦471年）、元岡G6号墳の庚寅年（西暦507年）、箕谷2号墳の戊辰年（西暦608年）の3例が知られるだけです。

種別	名称	所在地	指定年
国指定	箕谷古墳群	養父市八鹿町小山	平成4年
県指定	国木とが山古墳群	養父市八鹿町国木	昭和49年
	観音塚古墳	養父市上野	昭和54年
	禁裡塚古墳	養父市大藪	昭和61年
	塚山古墳	養父市大藪	昭和63年
	西ノ岡古墳	養父市大藪	昭和63年
	こうもり塚古墳	養父市大藪	昭和63年
	堀畑1号墳	養父市堀畑	平成22年

養父市にある国・県指定文化財の古墳



禁裡塚古墳



堀畑1号墳



国木とが山古墳群

